

平成 25 年 12 月 吉日

## 体表解剖学研究会主催

### 「体表解剖学の知識を使った骨格筋に対する徒手療法セミナー」

#### 開催のお知らせ

拝啓 寒冷の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本研究会は骨格筋・骨・神経等の運動器系の詳細な構造を理解し、体表から正確に触察する方法について研究とセミナー活動を行ってきました。このセミナーの受講者から体表解剖学の知識を使った筋痛治療への臨床応用についてのご質問を多数頂戴いたしました。

そこで今回、本研究会主催で下記要項の通りセミナーを企画いたしましたのでご案内申し上げます。

是非、皆様方の積極的なご参加をお待ちしております。

敬具

#### 記

【テーマ】 体表解剖学の知識を使った骨格筋に対する徒手療法セミナー

【内容】 日々の臨床場面にて股関節、大腿部周辺の筋痛に悩みながら治療されている方は多いと思います。特に殿筋（大殿筋・中殿筋）から大腿外側（外側広筋、大腿二頭筋）の痛みは多く、腰痛や膝痛の原因筋である場合が少なくありません。そこで、本セミナーではまず、筋痛治療に必要な殿筋群、外側広筋、大腿二頭筋の触察実習を行います。その後、骨格筋にみられる筋硬結の評価と治療について学んでいきます。このセミナーでは、徒手刺激（圧迫、摩擦）を行い筋硬結の触察感の変化を体験し、治療効果を実感していただきます。

【日時】 平成 26 年 3 月 16 日（日） 10：00～17：00 受付時間 9：30～

【会場】 東京工科大学蒲田キャンパス 12 号館 5 階 PT・OT 実習室  
〒144-8535 東京都大田区西蒲田 5-23-22  
<http://www.teu.ac.jp/campus/access/006644.html>

【講師】 青野正宏（アオノ治療院、体表解剖学研究会理事）・他  
触察・治療実習では、受講者 4～6 人に 1 人ずつの実習担当者が指導致します。

【テキスト】 当日配布いたします。

【参考書籍】改訂第2版 骨格筋の形と触察法（著：河上敬介・磯貝香 大峰閣）

※必須ではありませんが、上記の書籍をお持ち頂けると骨格筋の触察時に役立ちます。

※参考書籍は、当日会場でも購入して頂くことが可能です。定価 12,600 円が 11,000 円で購入できます。

【対象】理学療法士、柔道整復師、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等

【定員】50名（先着順） ※定員になり次第受付を終了します。

【受講料】8,000円

※お申し込み後に当研究会より受講の可否とお振り込み先等についてご連絡いたします。なお、振り込み後のキャンセルはできませんので、ご注意ください。

【受付期間】平成26年1月6日（月）～ ※定員になり次第受付を終了いたします。

【申し込み方法】体表解剖学研究会ホームページ (<http://surface-anat.com/>) の申し込みフォームによりお申込みください。

【準備物】股関節、大腿部が触察できる服装、大型バスタオル1枚

※近くに食堂、コンビニエンスストアはございますが、昼休み時間が短いので、持参されることをおすすめします。

【問い合わせ先】体表解剖学研究会 担当 高橋伸太郎

たてやま整形外科クリニック リハビリテーション部内

E-mail: [reha@tateyama-seikei.com](mailto:reha@tateyama-seikei.com)

※問い合わせの際は、必ず件名に「徒手療法セミナー問合せ」とご記入ください。